

新所長紹介

よろしくお祈いします!



9月1日付け人事異動により、知床森林センターに勤務することとなりました館 泰紀(たて やすのり)です。
 前任地の北海道森林管理局指導普及課では、知床森林センターの仕事も担当していましたが、知床で勤務するのは初めてです。
 世界自然遺産登録後、国内外から注目されている『知床』から、森林の大切さやそれを守り育てることの難しさなど子供達を始め多くの方々に様々な機会を通じて伝えていきたいと思ひます。
 国民参加の森林づくりをより一層推進するため、センタースタッフと共に頑張ります。

知床は今



羅白岳、三ッ峰、サシルイ岳・知床半島に雄大に連なる山々は今、紅葉に染まった秋色から白く美しい冬色へと姿を変えています。

緑から赤、赤から白、そしてまた緑へと変化していく大自然の芸術家は、この自然がある限り日々私たちに発見と感動を与えてくれます。この季節、徐々に姿を消していく紅の山には『また来年会いましょう』、そして来る白い山には『また今年も会いましたね』という気持ちになります。

知床の樹木



北海道を代表する樹木で『北海道の木』に選ばれ、高さ40m、直径が2m以上になるものもある常緑針葉樹です。



木目が美しく加工も容易なことからピアノやギター等の楽器、その他幅広い用途で使われています。

知床の玄関口にあるオシンコシンの滝の「オシンコシン」はアイヌ語で『エゾマツが群生する所』という意味で、オシンコシンの滝付近では多く自生していますが、その他の知床半島ではあまり見ることがありません。

11月～1月のイベントのお知らせ

実施年月日	イベント名称	場所	申込み時期
平成19年11月 3日(土)	森の恵みで草木染め	森林センター1F	実施済み
平成19年11月18日(日)	森の恵みを使ってクリスマス作り	森林センター2F	11/1～11/15
平成20年 1月12日(土)	親子ネイチャークラフト体験	森林センター2F	12月中旬～

詳しくは知床森林センターHP (<http://www.shiretoko.go.jp/>) か電話でご確認下さい。

この広報誌は道産間伐材を使用しています。

知床の森から

(写真:知床連山)

平成19年11月発行 第110号

北海道森林管理局 知床森林センター
 〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
 電話 0152-23-3009 FAX 0152-23-3160
 ホームページ <http://www.shiretoko.go.jp>



第86回森林レクin知床

10月14日開催

『知床の大木に登って野鳥の気分を体験しよう』



センター初の試み

ツリーイング体験

～参加者全員が挑戦!～

木登りや森林散策を通して、普段では体験出来ない樹上の世界と森林浴を味わっていただこうと、TMCA(ツリー・マスター・クライミング・アカデミー)道東ブロックの方々を講師に招いて、国設知床野営場で『ツリーイング』体験と自然観察教育林(ポンホロ沼)での自然観察会を開催しました。

ロープとハーネスを使い、ロープワークだけで安全かつ木を傷つけずに登る『ツリーイング』。8歳～67歳の参加者22名全員が挑戦しました。



講師と参加者全員で記念撮影



自然観察会では、季節によって姿をかえる『ポンホロ沼』に参加者は驚きの様子でした。

知床発の「国民参加の森林づくりの新たな仕組み」を検討

「第2回知床永久の森林づくり協議会」が開催される

9月26日(水)、第2回「知床永久の森林づくり協議会」を知床森林センターで開催しました。

この協議会は、遺産区域外も含めた知床半島全体において、国民参加の森林づくりを一層推進するための新たな仕組みを考え、実践すること目的に本年7月に学識経験者や企業関係者、地元自治体や関係団体等を委員として設立しました。

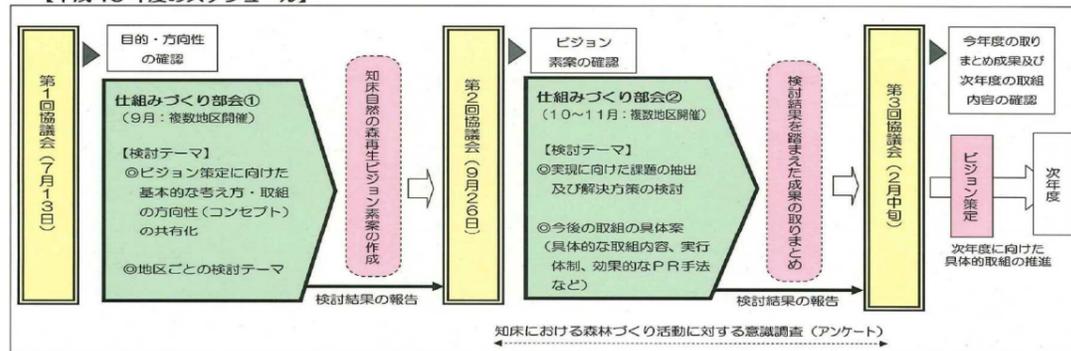
今年度は、「知床自然の森林再生ビジョン」(仮称)を策定する予定であり、第2回の協議会では、知床におけるボランティアや企業等多様な主体が参画した森林づくりや、森林環境教育を推進するため、「どのようなフィールドでどんなことができるのか」「その仕組みづくりのために今後どのような検討が必要か」などの具体的検討がされました。

今年度は3回の開催を予定しており、来年2月に第3回目の協議会を開催する予定としています。なお、協議会の資料や議事内容については、北海道森林管理局のホームページに掲載しております。

また、9月5日(水)と7日(金)には、札幌地区、知床地区のそれぞれで「仕組みづくり部会」が開催されました。この「仕組みづくり部会」は、その名のとおり国民参加の森林づくりの新たな仕組みづくりのため、より具体的な内容について検討をするために設置したもので、協議会と同様に3回程度の開催を予定しています。



【平成19年度のスケジュール】



※北海道森林管理局HP <http://www.hokkaido.kokuaurin.go.jp/käoku/>

～「ボランティア活動拠点施設」の建築工事が始まる～

ボランティア団体等による森林づくりなど様々な活動の拠点として「ボランティア活動拠点施設」を斜里町ウトロ地区(国設知床野営場内)に設置することとしていましたが、11月上旬から着工する予定です。(平成20年春オープン予定)

今後は、ボランティア活動の打合せや研修、情報交換・発信の場等として使用し、森林づくり協議会、市民、NPOなど様々な団体等が行う森林づくり活動などの拠点としての利用が期待されます。

知床森林センター9月・10月の活動

第85回 森林レクリエーションin知床 【9月9日(日)】

「知床の森を『木のお医者さん』と一緒に歩いてみよう！」

樹病や森林生態系への理解を深めてもらうため、網走管内で唯一の『樹木医』であり、様々な樹木の治療実績がある、鈴木順策先生を講師に招いて、講義とオシンコシン旧道で森林散策を行いました。

小雨降る中、20代～60代までの16名の方が参加し、遠くは紋別市からの参加者もいました。

座学では、樹病や森林の機能など、森林散策では病気に冒されている樹木を見て、参加者一同、熱心に先生の話に耳を傾けていました。



「しれとこ産業まつり」に今年もブース出展!【9月30日(日)】

第28回しれとこ産業まつりが今年もみどり工房しゃりで開催され、当センターでは木や森林に興味を持ってもらおうと『種当てクイズ』『丸太切り』『火おこし』『種模型飛ばし』の4ブースを出展しました。

当日は、晴天に恵まれ、また休日ということもあって斜里町や近郊の市町村から親子連れが多く、当センターのブースにも多くの方が訪れました。種当てクイズでは100名以上の方が参加し、難易度がちょっと高めでしたが全問正解者が多く、その他のブースでも休みなく数多くの子供達が様々な体験を楽しんでいました。



道民森づくりネットワークの集い2007

「森のテント村」ポスターセッションへの参加 【10月27日(土)】

北海道庁赤レンガ庁舎前庭において、豊かな森林を次世代に引き継いでいくことを目的に道民森づくりネットワークの集い2007が開催されました。

当センターはポスターセッションに参加し、知床自然の森林づくり協働モデル事業、各種調査・イベント等の業務や知床国有林の見どころなどを紹介しました。当日は数多くの方々からポスターの前に足を止め、知床における国民参加の森林づくりやイベントに興味を示していました。以前に知床を訪れたことのある方も多く、ある男性はポスターを懐かしそうに見ながら知床の秘境ルシャの昔話を語ってくれました。

森林を愛する多くの方々から貴重なご意見を頂きましたことに、お礼を申し上げます。



今年のドングリは豊作?

知床森林センターでは、平成元年から『ミズナラ堅果結実調査』(通称:ドングリ調査)を実施しています。今年の調査はまだ途中ですが、今のところ『豊作』の予感がします。詳しい調査結果については、次号(1月号 No.111)で特集する予定ですのでご期待下さい。